

○4番 藤田美風君

仲津小学校6年、藤田美風です。私は、保育園などで園児などを見る人が少ないことについて質問します。

今保育士不足だと聞きました。実際、私の弟も保育所に入るのに時間がかかりました。理由は保育士が減って不足しているとのことでした。やっと4月から入園することができましたが、そこで働いている保育士さんに聞いてみたところ、保育士さんが少ないというのは本当でした。しかし保育士免許を持っている人はたくさんいるそうです。

なぜその人たちが免許を持っているのに働いていないのかが不思議です。なぜだと思いますか。

○議長 亀田ふみ君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 田中純君

お答えいたします。保育士さんは、うちの市だけではなくて、実は全国で足りていないという状況になっています。その理由は様々が考えられるんですけども、もはや共稼ぎで夫婦二人が働くのが当たり前の世の中になってきたということで、保育園の需要が非常に高まってきたということが、少子高齢化にもかかわらず、そういう状況が生まれているという片側の事実があると思われまます。そして保育士さんのサイドから見れば、これは余りいい言葉ではないんですが、いわゆる3Kに近いような職場になっているということが想定をされます。つまり、きつい・汚い、あと何でしたか、3つのKがブラックに近いようなかたちで保育士さんの職場が、保育士さん自身がそう思っておられるという現実も無視できない範囲内であろうというぐあいを感じています。

したがって、まず行橋市の、この地域の問題とすれば、まず保育士さんの場合は、若い女性がかかり比率として高いので、やはりどうしても都市部に、都市志向になってしまいますので、それに負けない魅力を行橋市の保育園でそういう環境をつくるということ。それからこれが肝要なことなんですけれども、給与を都市部に負けないように給与を出すということが大きな問題点になってこようかと思っています。

ただし、保育士さん自身がそれによって急速に増えるのかということ、今現在の状況では非常に難しい状況にあって、実は私どもも大変困っている状況ではあります。そこら辺は、何が原因と、単一的な理由があるわけではなくて、様々な現在という社会の中の状況がそういうぐあいになっている。そしてそれに対しては、やはりなんとか子どもを育てるという重要な、いわばエッセンシャルワーカーですから、そこは十分なんとか行橋にとどまっていただけのような努力を今後も続けなければならないというぐあいと思っています。以上です。

○議長 亀田ふみ君

藤田議員。

○4番 藤田美風君

以上で質問を終わります。ありがとうございました。